令和５年度　学校評価一覧

学校名　大館市立田代中学校

重点目標	学校教育目標　　ふるさとに誇りをもち、今と未来を幸せに生き抜く生徒の育成　　共生　凡事徹底　挑戦 ❶未来大館市民の育成のために全教育活動を通して、人間的基礎力、主体的実践力、共感的･協働力及び自己有用感･自尊感情を育てる。 ❷地域社会と関わる学習を通して、ふるさとへの誇りや志をもって自らの生き方を考えることができる生徒を育む。 ❸地域貢献活動や地域との協働活動等を通して、学校と地域の協働体制を構築し、地域とともに歩む学校づくりを推進する。

大館ふるさとキャリア教育（未来大館市民の育成）

人間的基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成

評価項目		自己評価Ａ	学校運営協議会評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価Ｂ
Ⅰ　自主・自律 安心な生活	明るく心のこもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら主体的実践力を育もうとしている。	おおむね良好	おおむね良好	１　ＪＡＫＳ：基本的な生活習慣の確立 ＴＰＯ：人間的基礎力、共感的協働力の育成	(1)基本的な生活習慣の確立（時間管理、挨拶・言葉遣い、聴く姿勢、整理整頓）	・樹林ノートを活用した見通しのある生活、風紀委員会による推進活動 ・時と場に応じた挨拶、人の話に傾聴する姿勢や態度の向上→（凡事徹底）	3
					(2)生徒理解とよさを伸ばす関わりによる自己有用感、自尊感情の醸成	・学級、生徒会活動の見届け、称揚と生徒同士が認め合う場の設定→（共生） ・アセス、いじめ調査等のデータを活用・共有した生徒支援	
					(3)目標の設定と振り返りによる主体的実践力、共感的協働力の育成	・樹林ノート等を活用した、学期や長期休業の目標設定と振り返り→（挑戦） ・目標の実現に向けた、共感的・協働的に高め合う場の設定	
	互いに認め合い、協力し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性や社会性を育もうとしている。			2 共感的風土の中での活気ある個と一体感のある集団づくり	（４）互いに支え合う個・集団づくり ・学年・学級経営、学級活動	・学年委員会の機能を生かした学年集会の企画と運営 ・学校行事に向けた目標設定及び事後の活動の振り返りの場の保障と価値付け （ポートフォリオ、樹林ノート、キャリアパスポート、キャリアノート）	3
					（５）主体的実践力・共感的協働力の育成と学校生活の向上 ・生徒会活動（執行部・専門委員会）	・生徒会テーマに基づいた日常活動の工夫 ・学校生活の向上を目指すための生徒会活動の充実 ・地域と積極的に関わる活動の充実	
					（６）共感的・協働的活動による所属感、連帯感、自己有用感の醸成 ・体育祭（田っ中ソーラン、応援合戦） ・学校祭（合唱コンクール，学年発表） ・地区ボランティア（夏・冬）	・全校が一丸となって、活気をもって取り組めるような行事の計画・実践 ・縦割りの機能を生かした一体感のある活動（体育祭、地区ボランティア等）	
Ⅱ 思いやりの心、たくましい心	集団や社会における人間関係の形成と、よりよく生きるための考えを深め、自己実現を図ろうとしている。	おおむね良好	おおむね良好	３ よさの伸長と豊かな心と自立心	（７）自他を認め、互いに協力し合う生徒の育成 ・教育活動全体を通じた道徳教育と「考え、議論する道徳」の充実	・学校と学年の重点目標を位置付けた計画と実践（道徳教育全体計画別葉の活用） ・創意工夫を生かした教育活動と関連付けた道徳の実践 ・道徳集会（全校生徒で「考え、議論する」場）の実施	3
					（８）ふるさとを愛し、積極的に交流・貢献する生徒の育成 ・職場見学、地域訪問、職場体験、キャリア講話、未来を語る会、地区ボランティア等	・職場見学、地域訪問、職場体験の充実 ・キャリア講話、未来を語る会、地区ボランティアなどを通した郷土愛の醸成 ・ボランティア活動、地域行事、子どもハローワークへの参加の推進 ・活動の振り返りの保障と価値付け（ポートフォリオ、樹林Ｎ、キャリアＰ、キャリアＮ）	
Ⅲ 基礎学力	基本的な学習習慣を身に付け、共感的･協働的な学び合いを通して「おおだて型学力」を向上させようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	４ 一体感と活気のある学習活動	（９）基本的な学習習慣の確立と主体的な学習の充実	・「田代中学習の約束」を基盤とした基礎・基本の定着 ・学習、ＩＣＴオリエンテーションによる生徒の学習意欲の向上と授業を見合う会（樹林ツアー）、研究授業等による授業改善 ・学習委員会による学習状況の評価と課題改善に向けた活動の充実	3
				５ 授業改善への取組	(10)生徒一人一人が自分の考えをもち、共感的・協働的に課題を追究する授業実践	・各教科で働かせる「見方・考え方」や育む資質・能力を明確にした単元（題材）構想と授業デザインの工夫 ・学び合いの時間「樹林タイムＤ・Ｆ」の実施と、教師のコーディネート ・自己の変容や学びを自覚させるためのつながりを意識した振り返り	
				６ 諸検査の分析と活用	(11)学習状況調査等の分析と指導方法の改善	・各種テストの分析と適切な回復指導 ・学習評価を生かした学習状況の把握と回復指導	
				７ 教職員の研修	(12)研修及び授業研究会を通した指導力の向上	・校内研修会（ICT、冬季、夏季）の充実 ・教科を超えて全員で研修する指導案検討会と授業研究会 ・毎月１回「授業を見合う時間」（樹林ツアー）の設定	
Ⅳ 健康と体力	食や運動を通して健康や体力への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	８ 保健活動の状況	(13)心と体の健康に向けての取組	・教育相談の実施と職員間の情報共有・チーム対応 ・望ましい生活習慣の確立を目指した保健指導の取組（MCアンケート等の活用） ・健康意識の向上を期した掲示環境の整備	3
				９ 部活動の状況	(14)主体的実践力・共感的協働力を育てる部活動	・目標の実現に向けた主体的・共感的･協働的な活動への指導・支援と見届け ・人間的基礎力（JAKS）育成	
Ⅴ 組織運営	教職員が学校教育目標及び重点事項等を踏まえた主体的、組織的な取組を行っている。	良好	良好	１０ 組織的な学校運営	(15)学校教育目標・目指す学校像・生徒像実現への取組 （共通理解・共通実践・凡事徹底・組織力を生かしたチーム対応）	・目標実現のための三つの柱（確かな学力の育成、豊かな人間性と社会性の育成、「ふるさとキャリア教育」の充実）に基づく共通実践 ・目的と手段を明確にした教育活動の展開と全ての教育活動を通して一人一人が身に付ける資質・能力（JAKSを基盤とした人間的基礎力、主体的実践力、共感的協働力、自己有用感・自尊感情）の育成 力、主体的実践力。共感的協働力、自己有用感・自尊感情）の育成 ・目標の実現のための学校評価等の活用と改善	4
				１１ 教育課程の編成・実施・改善	(16)社会に開かれた創意ある教育課程の編成	・ふるさとキャリア教育を充実させる総合・特活・各教科との関連を図った計画 ・見通しのもてる年間計画・月計画・週計画の作成と運用	
Ⅵ 保護者・地域との連携	学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	おおむね良好	良好	１２　情報の受発信と学校開放	(17)広報活動の充実と学校開放	・学校報、メールでの保護者への情報発信 ・ＨＰを利用した地域・社会への情報発信 ・学校開放の実践（保護者・地域）	3
				１３　地域の教育力の活用	(18)地域・保護者等と連携・協働した教育活動	・ＰＴＡ活動の充実や地域学校協働本部事業の活用 ・地域及び学校間の連携・協働のための連絡調整と活動の促進	